

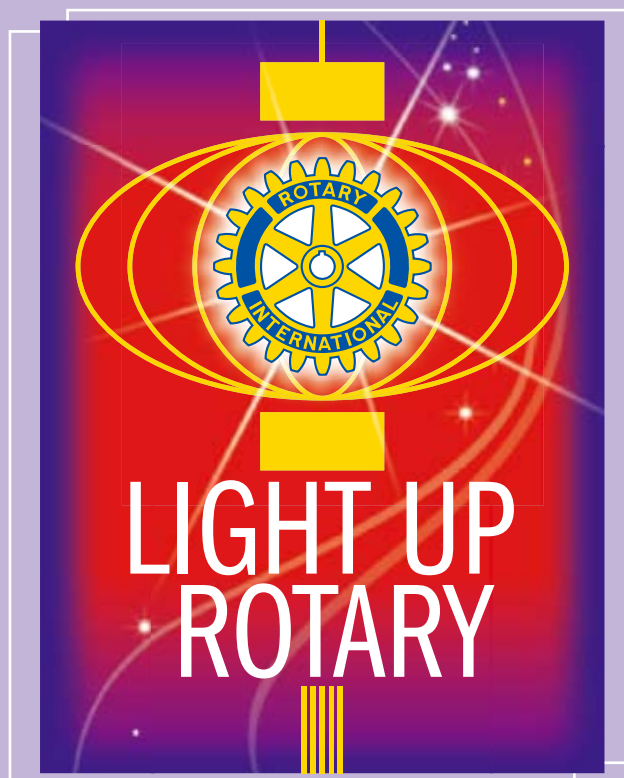
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014—2015 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナー月信 9月号

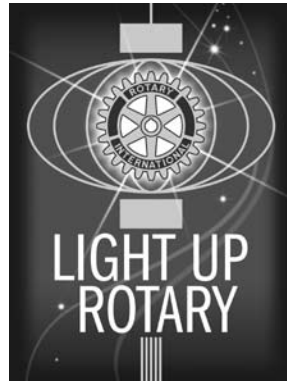
Vol.

3



国際ロータリー 第2660地区
2014—2015年度ガバナー

泉 博朗



2014-2015 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 9月号

CONTENTS

Vol.3

ガバナーメッセージ（新世代のための月間）	1
新世代のための月間に寄せて	2
意義ある業績賞について	3
合同地区委員会 報告	4
広報委員長会議 報告	5
ロータリーファミリーによる『第1回地区献血』報告	6
奨学生オリエンテーション 報告	7
米山奨学委員会 学校／地区委員会 意見交換会プログラム 報告	8
米山委員長・カウンセラー研修会 報告	9
ロータリー財団情報	10
2014年7月度 会員数・出席報告	12
文庫通信	13
敬弔／お知らせ	14

新世代のための月間にあたって 「未来は若者にしか作れない」

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



「未来は若者にしか作れない。」50年後、私はこの世に存在しているでしょうか。

私は50年後の世の中には存在していません。50年後の世の中は、今の若者が活動して作り上げているのです。ただ、今の若者に未来を託すことは出来ます。私が頭の中で思い描く未来を託すことは出来ます。

また、今の若者は私たち大人を見て、未来を感じます。若者たちが、元気のない、力のない、将来を期待していない私たちを見て、明るい未来を予測することができるではありませんか。

若者には、明るい未来、力強い未来を語って欲しいわけであり、あなたの熱い思い、情熱を語って欲しいわけであり、幸い、私たちには若者と接する機会が多くあります。「ニコニコキャンプ」では小学生に、「インターアクト」では中高生に、「ローターアクト」や「ライラ」では18歳から30歳までの若者と接する機会があるのです。「米山奨学制度」や「青少年交換プログラム」では外国の若者と接することが出来るのです。

素晴らしいロータリアンのあなたなら、若者と接するだけで十分に彼らにあなたの思いを

伝えることが出来ます。難しく考えることはありません、ただ、あなた自身を見せるだけでいいのです。勇気を持ってまず一歩、自信を持ってもう一歩、若者に近づいてください。あなたの勇気、自信を若者に与えてください。自己を肯定する感情、自尊心を持たせて下さい。そのために、若者には「学び」や「気づき」を体験させていただきたいのです。

多くの若者、特に学生は、親、教師、アルバイトや仕事の先輩、上司しか、大人を知りません。素晴らしいロータリアンのあなたなら、きっと若者はあなたに憧れを持つでしょう。ロータリーの多くの機会を生かして、どんどんと若者と接してください。

若者たち同士の交流も大切であります。地区としては、ロータリーの青少年プログラムの成果を考えなければなりません。「ニコニコキャンプ」から始まり、「インターアクト」、「ローターアクト」、「ライラ」への効果的な流れを作らなければなりません。

そういう事を実行するならば、未来は私たちと若者が力を合わせて作っているといえるかも知れませんね。

■ 新世代のための月間に寄せて

パストガバナー

岡部 泰鑑

(大阪城南RC)



9月は新世代のための月間です。

青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである(標準クラブ定款第5条)。

若い人々が多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすために彼らの生活力を高めることによって、若い人々に将来への準備をさせることは、各ロータリアンの責務である。すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズ(健康、人間の価値、教育、自己開発)を支援するプロジェクトを立ち上げるよう奨励されている(ロータリー章典8.060.)。

当地区では青少年の健全な育成を目指すためのプログラムとしては、

- (1) ロータリー青少年交換
- (2) ニコニコキャンプ
- (3) ローターアクト
- (4) インターアクト
- (5) RYLA

等が用意されています。

私達ロータリアンは、このようなプログラムを通じて青少年と共に、将来に向かっての目標を設定し、共に楽しみ、共に話し合い、彼らの行動を見極めて、健全な方向へと共に歩む姿勢が必要です。

そしてこのことは、私達が彼らの未来をサポートす

ることになり、私達の未来をゆだねることになります。

彼らは厳しい目で私達を逆に見ています。私達が誠心誠意接することで、彼らは心を開き、打ち解けると思います。是非共このことを念頭において、多くのロータリアンがこれらのプログラムに参加して、若者達との心の交流を実感して下さい。

「すべてのロータリアンには若い人々が抱えるさまざまなニーズを認識し、彼らの人間的、職業的成長を支援する責務がある」という考え方があります。簡単に申し上げれば、すべての若者に色々なチャンスを与えることです。

しかし、そのすばらしい活動の中で注意すべき点が多々あります。それは危機管理です。

手続要覧(P68~P69)に掲げられています、

- ・ 青少年と接する際の行動規範に関する声明
- ・ 青少年の保護
- ・ 青少年保護法の順守を怠った場合
- ・ 青少年の国外旅行

を一読下さい。

ロータリアンはこれらのことに対して十分な注意を払うと共に、次の時代を担う若者達が健全な社会人に、そして品位ある国際人に成長することをお手伝いし、私達も若者の模範となる常々の精進こそがロータリー人生と思います。

最後に私が30年もロータリーを続けられたのは、若き日に関わったイラとインターアクトの活動に対する感動でした。

意義ある業績賞について

(The Significant Achievement Award)

意義ある業績賞委員会 委員長

福家 宏

(八尾中央RC)



ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、RI会長から「意義ある業績賞」が授与されます。

「意義ある業績賞」の目的は、地域社会の問題やニーズを取り込んだクラブ活動を表彰することによって、新しいプロジェクトの実施をすべてのクラブに奨励し、模範的なクラブ活動の重要性に対する意義を高めることです。本賞は1地区につき、1つのクラブだけが受賞対象となります。つまり地区レベルでの競争となります。応募のあったクラブからの申請を厳正に審査し、ただ一つのクラブを厳正に選び出すために、地区ガバナーが標題の地区委員会委員を設置し、これを地区内に発表することが奨励されています。

■選考基準

本賞の受賞資格を有するのは、1つのクラブにより実施された1件のプロジェクトのみです。またRIに推薦できるのは1地区につき1クラブのみです。既に本賞を受賞したことのあるプロジェクトには資格がありません。RI意義ある業績賞に推薦するプロジェクトを選出する前に、以下の選考基準を満たしているかどうかを確認する必要があります。

- 地元地域社会の顕著な問題やニーズに取り組むものであること(如何に意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格はありません)。
- 殆どまたは全てのクラブ会員が単に財政面の奉仕ではなく、身をもって奉仕に参加するプロジェクトであり、クラブの大半または全員が直接参加しているもの。
- クラブの規模および利用可能な資源に釣り合ったものであること。
- 地域社会においてロータリーのイメージ向上に役立つものであること。
- 他のRCが模倣できるものであること。
- 現在実施中、もしくは本賞が授与されるロータリー

年度中に完了するものであること(ただし現ロータリー年度に開始されたものである必要はありません)。

- 単一RCによって実施されたものであること。

■推奨推薦手続

以下は意義ある業績賞を選考するにあたっての推奨選考手続です。

- 8月1日までに、本賞への応募の受理、および審査を行う地区選考委員を地区ガバナーが選任し、告示する。地区ガバナーは、この委員会の職務上の委員となる。
- 地区ガバナーは、その月信で、選考基準(前項参照)とともに、この委員会に関する発表を行い、申請書を委員会委員長が受理する締切日を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手出来るようにする。
- 地区選考委員会は、2月13日(金)までに会合を開き、5つのプロジェクトまでを候補プロジェクトとして選び、2月28日(土)までに届くように地区ガバナーに提出する。
- 地区選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員会と協議の上、1つのプロジェクトを選定する。
- 地区ガバナーは、推薦するプロジェクトを必要な書類と共に3月15日(日)までに国際ロータリーに提出する。
- 提出締切日までに国際ロータリーが受理した推薦書式は、RI選考委員会で審査される。締切日を過ぎて受理された推薦書式は、審査の対象とはならない。

当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2015年1月30日(金)とします。RIに提出後、正式決定されると認定状が送付されます。その後、例年通りガバナーが地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰いたします。

2014-2015年度 合同地区委員会 報告

地区代表幹事 **川上 富清**
(大阪帝塚山RC)

7月19日(土)、肥後橋YMCA会館において、2014-2015年度のための合同地区委員会が開催されました。

合同地区委員会は、年度の初めにあたり地区の各委員会が今年度の活動計画を発表する場です。まず、泉ガバナーより「クラブ活性化」のためにと題して、下記の挨拶がありました。

地区委員会の目的は明確に一つであります。それは「クラブの活性化」にほかなりません。ただ、クラブの活性化の方向は一つではありません。様々なクラブの特徴を活かした活動を支援しなければなりません。そのために、様々な委員会の活動があるのです。

すべてのクラブで均等にロータリーの奉仕がなされるのではなく、そのクラブの、構成、生い立ち、方針により、様々な活動がなされることによって、地区全体として大きな活動が達成されるわけであり、ひとつの大きな力に頼ることなく、それぞれのクラブがそれぞれの形で、ロータリーの活動をすることを支援するのが、皆様、地区委員会の役割であります。一つのクラブが、少なくとも一つ、情熱をもって実施するロータリー活動を支援していただきたいのです。

本年度は38件の地区補助金を活用した奉仕活動、19クラブの提唱によるローターアクト、本年度より1件増えて7クラブの提唱によるインターアクト、37名の米山奨学生、10名の青少年交換、ニコニコキャンプ、2回のライラ、その他さまざまな活動が予定されております。その活動を実のあるものにしていた

だくのがその担当の委員会の役割であります。

また研修委員会や職業奉仕委員会のようにロータリーアンとしてのあり方を特に、新入会員の皆様に周知していただくのも、委員会の役割であります。また、そのどれも活動していないクラブに対し適切に支援するのも、委員会の役割であります。積極的に「クラブ活性化」のための活動をお願いいたします。

その後、各委員会委員長より、今年度の活動方針の発表がありました。

今年度の新しい試みとしては、2016年に開催される規定審議会への各クラブや地区委員会からの立法案の提出をサポートするために、横山PGを委員長に迎えて2016年RI規定審議会・地区委員会が発足しました。また、ホアンRI会長の提唱されているロータリーデーを実践する為、地区として8月12日の若手ロータリーアン研修セミナーと2015年5月5日のロータリーフェスティバルを企画し、ロータリーフェスティバルは近藤PGを委員長に迎えて実行委員会が結成されました。

各委員会から、熱のこもった方針発表が相次ぎ、質疑応答の時間が取れなくなり、ご迷惑をおかけしました。地区からは、ガバナー事務局の人員の入れ替えがあり、地区委員会の担当事務局員が交代するなどの事態がありうることを説明させていただきました。

最後に、立野ガバナーエレクトからご挨拶をいただき、合同地区委員会を閉会いたしました。



第1回クラブ広報委員長会議 報告

広報委員会 委員長 **上場 俊哉**
(高槻東RC)

2014年7月26日(土) 14:00~16:30 薬業年金会館において、第1回クラブ広報委員長会議を各クラブ広報委員長様、地区関係者様70名のご出席を頂き、開催いたしました。

開催目的は、1) 地区、クラブの広報のあり方、役割を共に考えること、2) 地区広報委員会の方針を伝え、各クラブの要望を聞くこと、3) ロータリーデー、ロータリーフェスティバルの目的、内容イメージ、広報委員会の役割を理解すること、でありました。

冒頭、クラブ奉仕担当顧問である福家直前ガバナー様より広報委員会の重要性をご説明頂き、また今年度よりご就任された第3ゾーンロータリー公共イメージ・コーディネーター補佐、高島パストガバナー様より公共イメージ、広報の大切さを具体的に、また興味深くご説明頂き、広報委員会の重要性を参加者全員が理解できたと思っております。

木村研修委員様には、“クラブと広報”というタイトルでご講演いただいた中、“1分間でロータリーとは何か?を説明できるように普段から考えておきましょう”と言うお話が印象的でした。藤田ロータリーの友地区代表委員様にも、ロータリーの友に関する情報を大変分かりやすく講演をいただきました。

続いて、ロータリーフェスティバルの説明をさせて頂き、その後参加者全員がIM毎に分かれてバズセ

ッションを行いました。テーマは“クラブ活性化のためにしたいこと”、“地区委員会にして欲しい事”、“ロータリーフェスティバルについて”で、限られた時間でしたが活発な意見交換がなされ、最後にIM各グループから議論の概要が発表されました。

ロータリーフェスティバルは、今年度地区テーマ「一人一人の輝きであなたの地域を輝かそう」の具体策として、一人一人の輝きを集め第2660地区を照らす場と位置付け、来年5月5日に中之島公会堂で開催されます。

ロータリーフェスティバルの準備、実行を通してロータリー精神を実践し、地域に発信することにより、第2660地区全てのロータリアンが自信と誇りを持ち、未来に向かい新たな一歩を刻む場とし、ロータリーフェスティバルの成功を通して、ロータリーの良さを地域に知ってもらい、直接、間接の会員増強、公共イメージの向上への効果が期待できるようにしたいと考えております。

ロータリーフェスティバル推進のホスト役は地区広報委員会が担当させていただきます。各クラブの広報委員会、また全ての地区委員会のご協力の下、第2660地区全クラブ、全会員が参加して頂くイベントとして、成功できますよう皆様のご協力を宜しく願います。



ロータリーファミリーによる 『第1回地区献血』報告

社会奉仕委員会 委員長

脇 隆俊

(大阪御堂筋本町RC)

去る7月20日(日)『第1回地区献血』をロータリーファミリーである地区ローターアクト委員会とローターアクトのメンバー、地区インターアクト委員会とインターアクターである高校生、そして地区社会奉仕委員会によって実施しました。

例年、この『地区献血』はRACメンバーによって年2回実施されてきた地域的社会奉仕活動で、本年度、ロータリーファミリーとして力を合わせ『ライトアップ2660地区』を目指し、実施しました。

例年より開催場所を増やし、大阪駅前、難波バス停横、京橋駅、樟葉駅の4か所で、朝から快晴で暑い中、10時から『献血、お願いします!』と声を上げ、また『献血』と大きく書いたパネルを頭上高く掲げ、皆での呼び込みが始まりました。

夕方、雷が鳴り大粒の雨になったところもありましたが、たいへん多くのクラブから献血にお越しいただき、また呼び込みにも参加して頂きました。

年2回の献血で500名という大きな目標を設定するなか、1回目は以下のような結果になりました。

受付人数 322人、採血 261人

内訳	大阪駅前	受付 77名	採血 67名
	難波バス停横	受付 69名	採血 56名
	京橋駅	受付 90名	採血 66名
	樟葉駅	受付 86名	採血 72名

赤十字センター調べの当該場所での平均採血者186名に対して75名も多い結果を得ました。

第1回献血における反省点としていろいろな意見が各委員会から出ており、また良かった点などを今後集約し、第2回献血に臨みたいと考えています。

最後になりましたが、今回の活動におきまして、多くのロータリーファミリーからご支援とご協力を頂きましたことを、心から御礼と感謝申し上げます。ありがとうございました。



大阪駅前



難波バス停横



京橋駅



樟葉駅

奨学生オリエンテーション 報告

ロータリー財団部門

奨学金・学友・ロータリー平和フェロシップ担当グループ リーダー

梅崎 道夫

(大阪城南RC)

2014年6月28日(土)午後4時より、2014-2015年度のロータリー財団グローバル補助金による奨学生として承認された西山様のオリエンテーションを実施しました。

オリエンテーションには、奨学生の推薦クラブとなる大阪中之島RCの山本顧問ロータリアンにも同席頂きました。

最初に泉ガバナーエレクトが開会のご挨拶をされ、合わせて奨学生に対して励ましの言葉をかけて頂きました。同時に泉ガバナーエレクトから、奨学生の西山様に、留学先で使用するための奨学生の名刺、バッジ、留学先のカナダでお世話になる方々へのおみやげとなる2660地区のバッジの贈呈もして頂きました。

溝畑財団委員長からは、奨学生に対して、ロータリーの成り立ちから、ロータリーの理念、ロータリーの組織・活動についてパワーポイントを使った熱心なオリエンテーションがありました。また、梅崎グループリーダーから奨学生と顧問ロータリアンに対して、今後の留学期間で注意することなどをまとめた文書を読み上げました。

続いて、奨学生の西山様が留学先のカナダのトロントに行ってから、現地でお世話して頂くスカボローRCの例会やロータリーの行事などでスピーチを求められることを想定し、西山様に約20分間のパワーポイントを使っての英語でのプレゼンテーションをしても

らいました。プレゼンテーションでは、日本のこと大阪のことを、文化や習慣だけでなく、日本が現在抱えている諸問題も含めて紹介され、さらにご自身が子供のころアメリカに滞在したときの体験、カナダの大学院で学びたいこと、教育者としての将来の夢などを話されました。

スピーチのあと、出席したロータリアンから、西山様のプレゼンテーションについて、西山様の参考となる意見やアドバイスを発表していただきました。

最後に、当日出席頂いた山本顧問ロータリアンから、西山様への激励の言葉を頂戴し、泉ガバナーエレクトの講評でオリエンテーションを終了しました。

オリエンテーションのあと、財団学友(かつてロータリーの国際親善奨学生として留学された奨学生OB・OGの集まり)のメンバー7名も加わって、北浜のルポンドシェルで西山様の歓送会を開催しました。

歓送会から福家ガバナー、高島パストガバナー、佐藤元財団委員長も加わって頂き、2660地区の財団部門顧問を務めて頂いている大谷パストガバナーも含めて、それぞれ奨学生に対して熱いメッセージを頂きました。財団学友からも、ご自身の近況報告と奨学生の先輩として贈るアドバイスや激励の言葉を頂戴しました。

歓送会は、オリエンテーションとは違って参加者全員が食事をしながら会話を大いに楽しみ、大変なごやかな会となりました。



米山奨学委員会 学校／地区委員会 意見交換会プログラム 報告

米山奨学委員会 委員 **岡部 倫正**

(大阪城南RC)

日 時：2014年7月10日(木) 14:00～16:00

会 場：ガバナー事務所

参会者：近藤菜穂子委員長、福田治夫副委員長、古城紀雄副委員長、田中隆弥副委員長、西谷雅之委員、島井宏子委員、北山治信委員、堀田修平委員、堀 隆委員、吉馴茂子委員、鹿浦英毅委員、石井博章委員、岡部倫正委員

参加校：関西医科大学、関西外国語大学、関西大学、近畿大学、摂南大学、相愛大学、大阪教育大学、大阪経済大学、大阪経済法科大学、大阪工業大学、大阪国際大学、大阪産業大学、大阪市立大学、大阪商業大学、大阪大学、大阪電気通信大学、追手門学院大学、東大阪大学、大阪日本語教育センター、コミュニケーションアート、大阪ハイテクノロジー専門学校

2014年7月10日(木) 14:00より地区米山委員会と大学・専門学校との意見交換会がガバナー事務所会議室にて開催されました。

当日は台風の予想の中、多くの学校関係者にご参集頂き田中隆弥副委員長の司会のもと議事が進められ、『人づくりの輪』のビデオを放映し、米山奨学生のあり方を紹介。ビデオ放映終了後、つづいて近藤菜穂子委員長が挨拶され、ロータリーの活動内容や米山奨学委員会からのお願いをしました。

ロータリー米山奨学会は日本のロータリアンが独自に設立した奨学事業である事、外国人を対象とした制度である事、また2660地区は全国34地区ある地区のひとつでガバナーを中心として奉仕活動を推進し、米山奨学委員会と相互に協力しあっている事、特徴として世話クラブとカウンセラー制度があり、民間の奨学団体として最大の支援数である事を説明しました。

また、米山奨学生としての好ましい姿、推薦して頂きたい人物像を下記の通り示されました。

- ① 挨拶がきちっとできる。
 - ② 目的意識がある。
 - ③ 忍耐力がある。
 - ④ 責任力がある。
 - ⑤ 自己啓発ができる。
- ①～⑤をベースにさらに『社会の人間関係の形成能力がある人』、『きちんと報告・連絡・相談ができる

人』、『協調性、チームワークをもてる人』、『問題解決能力に秀でた人』、以上の観点から選考して頂きたい旨を伝え、さらに『異文化に関心がある人』、『ロータリアンと交流、奉仕活動に積極的であること』、『奨学期間終了後、日本と母国との架け橋になって頂く意欲がある人』、『学友会に参加して後輩のために自分の経験を役立てる意欲がある人』、『月1回の例会に参加できる人』が望ましい事を説明。

またロータリー記念米山奨学会として求めている学生像は経済的に困窮している学生を優先して採用することは決してしてない、また成績が優秀なだけで採用することは考えていない。あくまでも人物優先であることの旨を説明致しました。

また、他奨学金との併願は避けていただきたい旨もお伝えしました。

つづいて、各大学、専門学校のご担当者の皆様に事前にお問い合わせしていたアンケートの内容についてロータリーへの推薦までの流れをご説明していただき、各大学、専門学校が発表した内容に基づき田中隆弥副委員長の下、質疑応答がされました。

最後に福田治夫副委員長が挨拶され、我々ロータリークラブ、ロータリアンとして最大限努力して数多くの学生を支援して行く旨を説明し、大学、専門学校のご担当者の方にも選考基準の考慮と共に、次年度の面接の時に選考で苦慮するような立派な学生を送り込んでいただくようお願いし、閉会いたしました。

米山委員長・カウンセラー研修会 報告

米山奨学委員会 委員 **堀田修平**
(枚方RC)

概要：2014年7月26日(出) 10:00~12:10 葉業年金会館601号室

参加者：59クラブ(申込は69クラブ)の米山奨学委員長およびカウンセラー 56名(申込は70名)、

泉ガバナー、近藤米山奨学会副理事長、岩田地区米山奨学部門顧問、簡、西邨、井川、矢田各IMガバナー補佐、村橋、磯田地区研修委員、米山奨学委員長以下23名の地区委員、総計79名

■泉ガバナーあいさつ

本年度スローガンはライト・アップ・ロータリーであります。米山奨学会に於きましてもライトアップ・米山で、各ロータリアンにご寄付を戴きライトアップを実践して頂きたいと思っております。

■近藤委員長あいさつ

昨年度の寄付に対してお礼申し上げます。昨年度に引き続き、一人あたり3万円の寄付金目標とさせて頂きたいと思っております。また、一人でも多くのロータリアンに米山奨学事業のファンになって頂きたい。現在海外には6学友会があり活動も活発におこなわれていること、選考基準、奨学生としてクラブ例会・行事への出席、等の説明があった。

奨学生は卒業後も学友会等で日本と世界の架け橋となって頂く為にも、ロータリアンのご協力とご寄付をお願い致します。

尚、皆様の当年度寄付金は2年後にご使用させて頂きます。

■近藤米山奨学会副理事長

米山奨学生はバイトをしなくて奨学金(寄付金総額が減っても一人あたりの奨学金額は減額しない)で十分に勉強して頂き、米山奨学会やクラブ例会と各行事に出席して楽しんで戴きたい。その為にも各ロータリアンが米山奨学会を理解して頂き、心のかもった寄付金を目標額以上で宜しくお願い致します。

また、奨学生の国籍問題は人類愛とロータリアンの大きな気持ちで配慮して頂きたい。

■DVD鑑賞「米山梅吉とその生涯について」

初めて見たという方々も多くおられましたが、日本のロータリーと米山梅吉の生涯を通してのポリシーを理解して頂けたと思います。

■米山奨学事業について深く学ぶ

古城副委員長より2013~2014年度当2660地区の米山奨学寄付金と世界の米山学友会(奨学生卒業)について詳しく説明が行われた。1人当たり22,591円で全国第3位、対前年度額では増加額1200万円で全国第1位等がありました。また、国別奨学生の比率(中国+韓国比率:合計40%)等や、海外6学友会の活躍が詳しく説明があった。

■米山学友からの報告

コウ テキ君(中国)は最初は奨学金を戴くのは宝くじに当たるように思っておりましたが、クラブ例会や多数の行事に出席するたびにカウンセラーをはじめ会員の暖かさを感じました。ロータリーや米山奨学会の真髓がよく理解できました。

グエン ティトゥイ ガーさん(ベトナム)は日本の父ちゃん、母ちゃんが来てとても嬉しかった。そして、世界的な学友・奨学生のファミリー(台湾、中国、ミャンマー、韓国、マレーシア、モンゴル等)も沢山できてよかったです。また、ホストクラブの行事にも進んで参加させて頂き楽しく過ごすことが出来ました。

■質疑応答

2人の方より質問がありました。年間3万円の寄付の根拠を示して欲しい。答：本部より書面にて回答して頂く(ガバナー月信2013年8月号11ページに記載あり)。奨学生27人では寄付金額見合い分約40人と合わないのではないか。答：新規生27人+2年目の奨学生10人でありおおまかに合致します。

■岩田顧問よりの講評

暑い日にご参加頂き有り難う御座いました。有意義な研修会で良かったと思います。これから1年間ご協力をお願い致します。

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信

(東大阪東RC)

【ジュディ・オングさん

ロータリーのポリオ撲滅大使に]

今年度RI会長ゲイリー C.K. ホアン氏と同じ台湾出身の歌手のジュディ・オングさんが、ポリオ撲滅キャンペーンの参加者リストに加わりました。

人気歌手として活動するかたわら、女優業や版権に力を入れているジュディ・オングさん。ポリオ(急性灰白髄炎、小児マヒ)のない世界をめざすロータリーの取り組みに賛同し、ポリオへの認識向上を図るキャンペーン広告で、ポリオ撲滅まで「あと少し」であることを示すポーズを披露しました。

【2014年10月24日の「世界ポリオデー」]

10月24日は「世界ポリオデー」です。世界中の地区、クラブ、ロータリアンが、ポリオとの闘いのために協力できるような活動をぜひご計画ください。

例えば、例会でポリオ撲滅活動をテーマとしたプログラムを組んだり、世界ポリオデーに向けた募金イベントを地元で開催すれば、一般の人びとにも広く活動を知らせることができます。

世界ポリオデーには、ご家族・ご友人と一緒に、「End Polio Now」の襟ピンを身につけましょう。

【ポリオ症例数】

2014年7月22日現在のポリオ症例数です。

	2014年1月1日~7月22日	2013年
アフガニスタン	8	14
パキスタン	102	93
ナイジェリア	5	53
ポリオ常在国以外	16	256
世界合計	131	416

【2015年7月1日から有効となる

ロータリー財団の新しい資金モデル】

：知っておくべき10のポイント

イアン・ライズリー、ロータリー財団管理委員、財団財務委員長

Rotary News 19-Jun-2014

1. ロータリアンとクラブにとっての重要性
最近の不況と不安定な投資市場を経験した財団は、投資収益の不調がロータリーのプログラムや奉仕に影響を与えないよう、十分な準備金を蓄える必要性を強く認識しました。新しい資金モデルは、現在だけでなく、これからもずっとロータリアンの活動を支えていくための財源を確保することが目的です。財団の方針は、3年分の運営費に等しい運営準備金を維持することです。
2. ポリオプラス基金への寄付に一切影響はありません。
3. 恒久基金への寄付に一切影響はありません。
4. 地区財団活動資金(DDF)に一切影響はありません。
5. 必要な場合には、年次基金への寄付の5%が、国際財団活動資金(WF)から運営費(または運営準備金)に充てられます。

今後も引き続き、年次基金への寄付は、3年間の投資期間を経た後で、50%がDDF、残り50%がWFとなります。ただし、投資収入で十分な運営費を賄えない場合、あるいは運営準備金が十分なレベルに達していない場合には、年次基金への寄付の5%に相当する資金が、WFから運営費に充てられる場合があります。運営費に充てる必要がない場合には、この5%はWFとして残り、通常のWFと同じように補助金に使われます。

6. グローバル補助金への現金拠出の5%が運営費に充てられます
7. 法人寄付の最大10%が運営費に充てられます
8. ロータリアンにしっかりと情報を伝えるためのプランを立てています
9. 研修と資料を準備しています
10. 財団は資金管理と透明性を大切にしています

【My Rotaryアカウント登録手引きのご案内】

「My Rotary」のアカウント登録方法やメールアドレスの取得方法など、操作手順を分かりやすく説明したマニュアルが完成しました。

以下のURLより、必要な手引書(pdf)をダウンロードしてご活用ください。

www.rotary.org/myrotary/ja/learning-reference/learn-topic/rotaryorg-resources

【グローバル補助金申請状況】

2013-14年度の補助金状況です。日本は特に奨学金の申請が多いと言えます。

グローバル補助金

	人道的	奨学金	VTT	合計
世界	655	171	29	855
ゾーン1-3	43	40	5	88

【ロータリー平和フェローシップ】

2013-15年度

派遣 1名 クイーンズランド大学

受入 10名 国際基督教大学

7月17日 ウクライナ政府と親ロシア派との闘争が続いているウクライナ東部ドネツク州で、アムステルダム発クアラルンプール行きマレーシア航空MH17便が墜落され、乗客乗員298人が犠牲になりました。罪なき多くの外国人が巻き込まれた今回の事件、他国の紛争は消して対岸の火事ではないということを私たちに知らしめています。平和な未来のために、私たちにできることは何でしょうか。

ロータリー平和センターでは、各国から選ばれたフェローが紛争を解決し、恒久平和を構築すべく研究しています。

未来の国際社会のリーダーとなる人材を、どうぞご支援ください。

2014年7月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性							
I M 第1組	池田	36	37	2	1	0	1	4	64.73	58.95	
	池田くれは	28	28	1	0	0	0	3	83.14	83.14	
	箕面	28	28	3	0	0	0	5	84.18	78.00	
	箕面千里中央	23	23	0	0	0	0	4	96.37	92.68	
	豊中	43	43	3	0	0	0	4	79.37	72.70	
	豊中南	27	27	2	0	0	0	5	80.75	76.63	
	豊中千里	35	35	3	0	0	0	4	86.72	80.90	
	小計	220	221	14	1	0	1		82.18	77.57	
	I M 第2組	茨木	26	26	3	0	0	0	5	93.34	85.62
		茨木東	41	41	4	0	0	0	3	78.47	63.89
茨木西		27	27	6	0	0	0	4	92.59	83.27	
千里		36	36	0	0	0	0	4	89.31	79.47	
千里メイプル		21	22	2	1	0	1	3	88.52	88.52	
摂津		33	35	1	2	0	2	4	85.28	79.05	
吹田		60	61	10	1	0	1	4	96.82	89.59	
吹田江坂		32	34	2	2	0	2	5	98.10	88.52	
吹田西		47	47	2	0	0	0	3	100.00	90.34	
高槻		45	47	5	2	0	2	4	81.33	75.41	
高槻東	38	38	2	0	0	0	4	94.38	91.55		
高槻西	21	21	0	0	0	0	4	95.24	79.76		
小計	427	435	37	8	0	8		91.12	82.92		
I M 第3組	大東	39	40	0	1	0	1	5	99.29	91.82	
	大東中央	27	27	11	0	0	0	4	73.97	64.73	
	枚方	43	45	0	2	0	2	4	89.88	86.31	
	門真	31	32	6	1	0	1	5	91.61	83.87	
	交野	33	33	1	0	0	0	5	89.31	79.02	
	香里園	16	17	0	1	0	1	4	96.42	77.79	
	くずは	49	52	0	3	0	3	5	81.67	75.54	
	守口	41	41	4	0	0	0	4	84.09	77.69	
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	81.48	73.15	
	寝屋川	43	43	5	0	0	0	4	86.05	76.16	
四條畷	12	12	0	0	0	0	5	94.55	94.55		
小計	361	369	31	8	0	8		88.03	80.06		
I M 第4組	東大阪	73	73	0	0	0	0	4	95.72	85.37	
	東大阪中央	27	28	0	1	0	1	3	94.81	93.47	
	東大阪東	60	62	4	2	0	2	4	83.73	71.09	
	東大阪みどり	27	27	0	0	0	0	5	83.70	63.70	
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	97.78	81.99	
	大阪柏原	31	31	2	0	0	0	4	87.30	86.43	
	大阪ネクスト	18	18	8	0	0	0	4	70.84	58.33	
	八尾	59	60	0	1	0	1	5	81.36	73.68	
	八尾中央	16	16	0	0	0	0	4	81.10	75.27	
	八尾東	25	25	1	0	0	0	4	77.81	67.69	
小計	367	372	15	5	0	5		85.42	75.70		

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	48	6	2	0	2	4	90.10	84.24
	大阪堂島	31	31	2	0	0	0	3	88.50	80.45
	大阪北	188	193	0	5	0	5	5	80.79	65.42
	大阪北梅田	50	50	4	0	0	0	3	78.00	67.33
	大阪西	75	76	0	1	0	1	3	87.81	81.05
	大阪大淀	38	38	0	0	0	0	5	90.42	81.44
	大阪リバーサイド	35	35	6	0	0	0	5	86.36	77.97
	大阪西北	49	49	0	0	0	0	4	90.00	83.05
	大阪そねざき	42	42	23	0	0	0	4	89.76	80.12
	大阪梅田	20	23	1	3	0	3	5	96.23	89.55
大阪梅田東	34	36	0	2	0	2	4	85.89	66.94	
大阪ユニバーサルシティ	35	35	5	0	0	0	4	82.58	72.73	
小計	643	656	47	13	0	13		87.10	77.52	
I M 第6組	大阪	261	263	1	2	0	2	4	78.03	61.44
	大阪東	119	119	0	0	0	0	5	93.13	77.66
	大阪東淀ちゃやまち	29	29	3	0	0	0	3	86.67	81.67
	大阪城東	42	43	5	1	0	1	4	93.15	89.98
	大阪中之島	27	28	2	1	0	1	4	84.55	79.13
	大阪大手前	34	35	5	1	0	1	4	91.38	85.52
	大阪城北	43	43	3	0	0	0	4	86.31	76.57
	大阪天満橋	62	62	0	0	0	0	4	87.59	83.16
	大阪鶴見	30	31	0	1	0	1	5	82.75	80.40
	大阪淀川	28	30	4	2	0	2	4	94.96	80.45
新大阪	33	33	1	0	0	0	4	90.91	85.61	
小計	708	716	24	8	0	8		88.13	80.14	
I M 第7組	大阪フレンド	26	26	3	1	1	0	5	86.65	62.98
	大阪御堂筋本町	57	58	2	1	0	1	4	90.04	80.08
	大阪南	152	156	0	4	0	4	5	84.79	72.36
	大阪難波	53	53	0	0	0	0	4	86.33	77.14
	大阪なにわ	24	24	3	0	0	0	5	88.14	83.04
	大阪南西	14	14	3	0	0	0	4	85.44	84.52
	大阪西南	96	98	22	2	0	2	4	72.86	93.54
	大阪船場	40	40	2	0	0	0	3	93.33	82.33
	大阪心斎橋	38	38	0	0	0	0	4	99.34	86.32
	大阪うつば	33	34	3	1	0	1	5	95.83	84.90
小計	533	541	38	9	1	8		88.28	80.72	
I M 第8組	大阪平野	31	32	2	1	0	1	4	98.33	94.94
	大阪イブニング	12	12	2	0	0	0	5	90.00	78.33
	大阪城南	50	50	0	0	0	0	4	100.00	92.27
	大阪咲洲	17	17	1	0	0	0	5	77.64	69.40
	大阪天王寺	55	55	0	0	0	0	4	89.98	84.90
	大阪帝塚山	51	51	4	0	0	0	5	81.86	78.01
	大阪東南	48	48	0	0	0	0	4	93.75	72.40
	大阪アーバン	26	26	7	0	0	0	4	91.35	89.42
	大阪みおつくし	30	30	18	0	0	0	4	55.82	54.16
	小計	320	321	34	1	0	1		86.53	79.31

合計	クラブ名	7月期初 会員数	月末会員 数	女性 会員 数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率

文庫通信 (323号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- 「当今世相四つのテスト」 佐藤千壽 徳山西RC 1998 43p
- 「『職業奉仕を強調したロータリーの認知度を向上させる広報活動』
プロジェクトについてのアンケート結果に対する考察」
大之木精二 2013 6p (D.2710地区活動報告書)
- 「職業奉仕とこれからの国際奉仕のあり方」
横田盛廣 2014 5p (D.2600下伊那グループIM&会員セミナー報告書)
- 「ロータリーは人づくり、自分づくり」 小林完治 2014 4p (D.2690地区大会記念誌)
- 「人格と生産性」 大迫三郎 2014 1p (D.2730月信)
- 「奉仕は他者のため？自分のため？」 本田博己 2014 3p (D.2840月信)
- 「公共イメージと認知度の向上」 二神典子 2014 12p (D.2510地区大会記録誌)
- 「なぜ、今、公共イメージの向上が必要なのか(フォーラム)」
酒井正人 他 2014 20p (D.2510地区大会記録誌)
- 「ロータリークラブの会長とは その1・2」
深川純一 伊丹RC 2005 2p (純ちゃんのコーナー PartIV)
- 「ロータリークラブの幹事とは その1~4」
深川純一 伊丹RC 2005 4p (純ちゃんのコーナー PartIV)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

お知らせ

■事務局移転

大阪西北ロータリークラブ

〒530-0001

大阪市北区梅田1丁目3番1号-300号 大阪駅前第1ビル3階

TEL：06-6347-7100（変更なし） FAX：06-6347-7109（変更なし）

■メールアドレス変更

池田くれはロータリークラブ

新メールアドレス ikedakureha@gamma.ocn.ne.jp

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 泉 博朗 (大阪帝塚山RC)
- 地区代表幹事 川上 富清 (大阪帝塚山RC)
- 地区副代表幹事 新井 文三 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 澤田 正實 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 渡邊 純一 (大阪帝塚山RC)
- 事務局長 栗正 久美

2014-2015年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	泉 博朗
地区代表幹事	川上 富清
地区副代表幹事	新井 文三
事務局長	栗正 久美
事務局員	井上 望美
	加茂 春日
	池田 華江

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

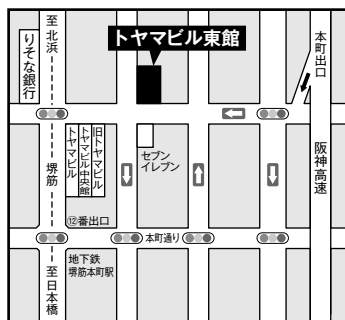
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日
年末年始
2014年12月29日(月)~
2015年 1月 2日(金)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp